

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成17年度	
総合計画	大項目	05	住民主体の協働のまちづくり
	中項目	01	住民主体で進めるまちづくり
	小項目	01	広聴広報
事務事業名		04	広報びぜん発行事業
		根拠法令・例規等	備前市広報びぜん発行規則
		担当課(室)	総務課
		職・氏名	係長・河井健治
		電話	0869-64-1800
		このシート作成に要した時間	3.0 時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	市民(全世帯)
目的(何のために)	市の行政情報や政策をわかりやすく正確に市民に提供するため
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	掲載すべき事項(条例、規則、訓令、告示、公告及び辞令や市の機関の定める規則及びその他の規程で公表を要するもの、行政、財政、産業、民生、消防、議会、監査、選挙等に関する事項、その他市民に周知させる必要があると認められるもの)を、わかりやすく正確に市民に周知するとともに市民活動などを伝える

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
広報びぜん発行事業	①情報収集 各課からの情報を収集するとともに、市民の活動などを取材 ②広報媒体発行 上記を基に原稿ほか「広報びぜん」を制作。月1回、(ホームページにPDF版を掲載:ホームページ作成事業) ③視覚障害者のために、広報をカセットテープに録音し「声の広報」を郵送(ホームページに読み上げソフトに対応したテキスト版を掲載:ホームページ作成事業)	◎	
広報配布事業	市職員(行政連絡員制度)が持ち帰り、自治会などが中心で全戸に配布	○	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費	千円	15,175	12,634	12,796	
	必要人員人件費	千円	1.25人	11,645	0.88人	8,133
	事業費計		26,820	20,767	21,584	
	国県支出金					
	受益者負担金					
繰入金	千円					
市債						
その他(広告収入)			819	819	869	
一般財源			26,001	19,948	20,715	
受益者負担比率	%		-	-	-	
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	

結果指標	説明	広報びぜん印刷部数	対前年比%	活動コスト	単位当たりコスト
		192,000	100.0%	11,311,348	59
		192,000	99.4%	8,933,820	47
		190,800	99.4%	8,996,400	47

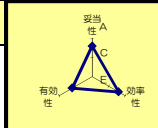
事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
読書率(%)	目標値(A)	90	90	90	90
	実績値(B)	83.3	85.8	83.9	到達目標値
	達成率(B/A)	92.56%	95.33%	93.22%	90
成果指標設定の考え方・式や説明					
読書率(当該年度の「市民意識調査」)					

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A~E> <b>B</b>
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> <b>B</b>
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 <A~E> <b>C</b>
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	20年度から、広報びぜんの毎月の基本ページ数を24ページから20ページに、全ページ二色刷りとしてコストに努めている。世帯数の減少により21年度は毎月の印刷部数を16000部から15900部とした。 読書率は平成18年度から常時83%以上を保っているが、さらに読まれる広報とするため、21年度からは不定期ではあるが地域の活性化・地域のネットワークなどを紹介するコーナーをスタートした。今年も6月号で東嶺山地区を紹介した。以降は吉永地域、日生地域から紹介する予定。					

総合評価	
市民意識調査の自由意見によると「市政が何を行っているかわからない」という趣旨の意見が多いと感じている。財政的な面からページ数など削減したが、お知らせだけでなく地域の活性化に繋がる記事などに取り組み、積極的な取材により情報の質を充実し、また読みやすさを研究し、市民にとってなくてはならない情報源として活用されるようになってきた。 東備西播定住自立圏構想による新規事業などにページが必要になっているため、さらに掲載内容をコンパクトにする必要ができた。	評価区分 <A~E> <b>B</b> 

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	市政に関する情報はもとより、地域の活性化に繋がる記事などに取り組み、積極的な取材により情報の質を充実し、また読みやすさを研究し、市民にとってなくてはならない情報源として活用されるという方向性は維持する。 現在のページ数は最低ラインと感じている。各部署におけるページ(予算)の確保、または周知用の定期印刷物(「市議会だより」「ときめきナビ」「いんべ会館だより」)などの統合を検討すべきと考える。					

留意事項  
事業の目的やその効性の値目標である成果指標について下さい